

データヘルス・予防サービス見本市 2016

2016年12月14日（水） 10:00-17:00
於：インテックス大阪・3号館

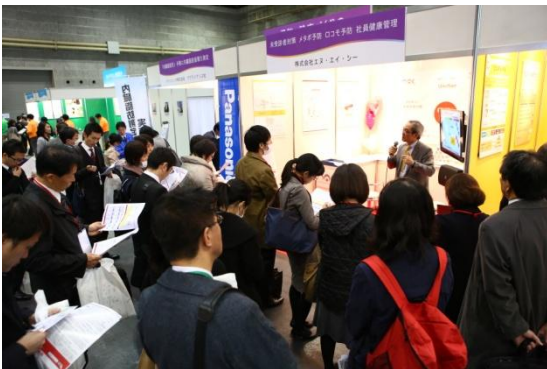
開催速報

2016年12月14日（水）、データヘルス・予防サービス見本市 2016 が開催されました。当日は冬の厳しい寒さとなりましたが、医療保険者をはじめとする約1300名もの予防・健康づくりのプロの方にお越しいただき、会場内は寒さを跳ね除ける程の高い熱気に包まれました。

大阪会場ではセミナゾーンをA会場・B会場の2つに分け、より多くの来場者に満足頂ける情報提供の場をご用意させて頂きました。

A会場では有識者の方々による、予防・健康づくりの最新知識についての講演を実施して頂きました。博報堂行動デザイン研究所 國田所長、博報堂リーマプロジェクト 主宰 田中氏による、コミュニケーションデザインの手法についての体験型セミナーによる講演はマーケティングについての実践的な知識提供だけでなく、会場内の聴講者同士での参加型のワークも用意されており、参加者同士の意見交換も多くなされていました。

産業医科大学 森教授、東京大学 古井特任助教、あいち健康の森健康科学総合センター 津下センター長ら、予防・健康づくりのトップランナーによる講演は申込時点から早々に満席となり、常時会場は満席状態でのセミナーとなりました。各有識者それぞれの視点からの最新事例紹介・情報提供はたいへんわかりやすく、聴講者の多くは熱心にメモを取るなど意欲的な受講をされていました。



B会場では省庁代表者を中心とした登壇者による国としての健康づくりへの考え方や、その展望についての講演が行われました。厚生労働省 高木室長、スポーツ庁 鈴木長官、経済産業省 江崎課長、内閣官房 大島次長と、健康づくりに関わる政府代表者による発表は、日本の健康のこれからを描く情報が多く盛り込まれており、国を挙げての更なる健康増進の機運の高まりを感じさせる内容でした。

厚生労働省としても初めての取り組みとなった全国の保険者を横断して行った調査「平成28年度保険者データヘルス全数調査」について、厚生労働省 岩井主査より振り返りが行われると共に、塩野義健康保険組合 森口常務理事、埼玉県志木市健康福祉部 清水主幹、全国健康保険協会 岐阜支部 西原グループ長の3名より、先進的な予防・健康づくりへの取組の紹介を頂きました。実践的な現場の方による取組事例紹介には大きくうなずきながら聴講される方も多くみられました。

事業者による出展ブースも盛況でした。ブース内でのミニセミナーなどを通じて最新のソリューション情報提供や体験がされた他、事業者と保険者の積極的な交流が各所で行われました。展示ブースは閉会の17時まで数多くの来場者にてにぎわい、来場者、出展者共に最後まで名残おしく情報交換をされていました。

**データヘルス・予防サービス見本市 2016 は大阪会場をもって終了いたしました。
ご参加頂きました全ての方々に、この場を借りて御礼申し上げます！**